

通学路の安全対策について

千本地域の皆様による下校時の見守りが始まりました。

毎週水曜日の下校時に正門や学校の南北の交差点で見守りをしてくれることになりました。



青空学童の皆様による登校時の見守りが始まりました。

6月25日（水）の登校時に学校の南の交差点付近で見守りをしてくれました。



東側道路の塀の塗り替えができました。

校舎の壁面と同じ明るい色で塗っていただきました。



塗る前



塗った後



東側道路のグレーチングを設置しました。

グレーチングとは道路にある溝にする蓋のことです。設置により溝の上を児童が歩けるようになり、道幅を広く使えます。



検討中↓

南側道路にガードレールやポールを設置すること

建設局が沿道の方の同意があれば次年度の予算で要望をあげるよう検討するとのことです。

東側道路に注意喚起の表示をすること

建設局が道路にスピードがでないよう凸凹をつける対策は住宅地には設置できないため、代替案として注意喚起の表示を検討するとのことです。

①学校の南東側に通用門を設置して、敷地内を通行できるようにすること

②学校の東側の塀を西へ移動し道路を広くすること

③現在の南門を通用門として正門と併用すること

大阪市教育委員会が①②③についてよりよい対策を検討するとのことです。